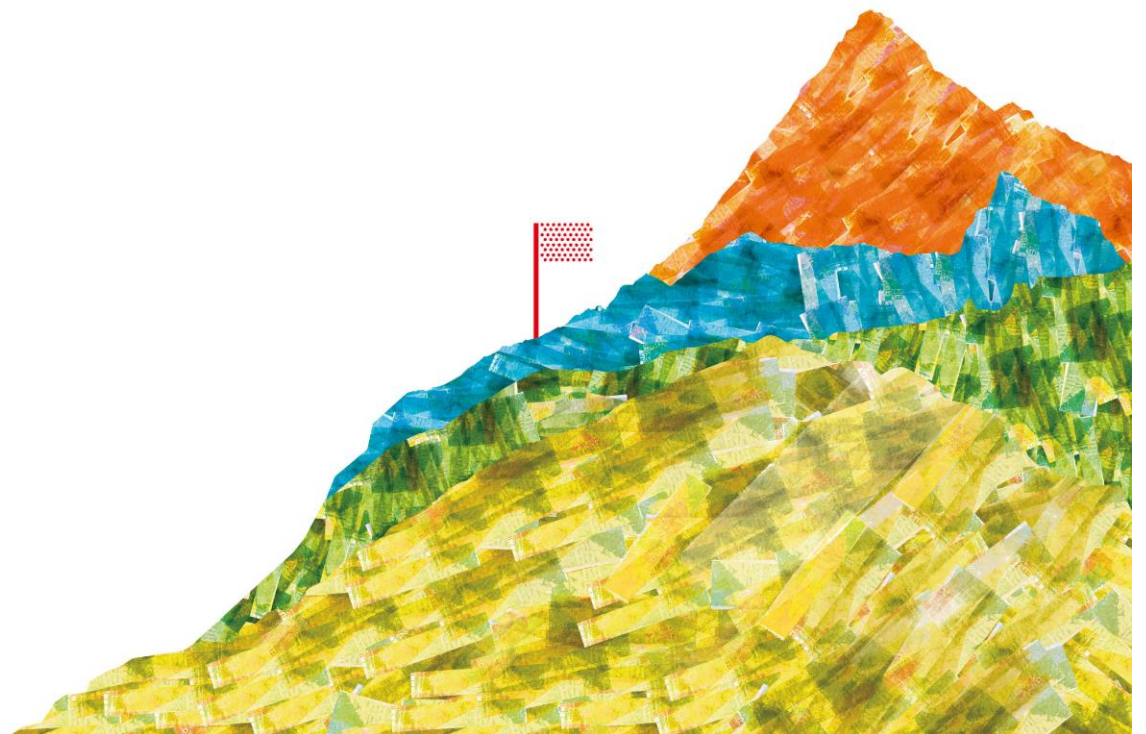


令和2年度 事業報告書

(南東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

鳥取県境港市誠道町 2083 番地

令和2年度事業報告書（南東京）

1 令和2年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、「緊急事態宣言」が発令され、年度当初から手探りの運営を強いられた。保育園、小規模多機能、緊急ショートステイは利用の縮小、いきいきセンターは業務停止、ケアホームやグループホームは入居者の外出制限、家族の面会制限を実施し、ご利用者やご家族に不便を掛けることになった。厳しい状況下でも事業運営を継続し、各事業所の本来の責務を果たすことができた。また、ICT化を進め、リモート会議システムを使用した面会などを工夫して、可能な限りご利用者サービスに努めた。
- 2) 事業所内の感染防止に努めつつ、季節ごとの行事やレクリエーションを可能な限り継続して実施した。生活の中での楽しみ、意欲向上、高齢者の残存機能の維持や保育園児の成長発達に注力し、行動制限による“コロナうつ”の防止に努めた。
- 3) 地域交流が難しい1年であった。最初の緊急事態宣言解除後には、交流を一部再開したが、年度後半の感染再拡大と緊急事態宣言の再発令を受けて再度中止した。
- 4) 職員研修はリモート研修が主体となり、当初の予定通りには行えなかったが、内部研修を充実させるなどして一定の成果を得ることができた。
- 5) 西大井において、ユマニチュードによるケアを更に継続して実施するため、「ユマニチュード導入施設宣言」を行った。
- 6) コロナ禍での外部との連絡や交流に備え、Wi-Fiの整備、タブレットの増設、リモート会議システム及び動画配信ソフトの導入などのICT化を進め、業務の効率化を図ると共に顧客サービスの改善、向上に努めた。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) コロナ禍において保育園2園、新砂介護事業では感染者を出すことなく事業が継続できた。
- 2) 令和3年1月下旬、ケアホームで新型コロナウイルスの陽性者が発症（職員2名、入居者1名、濃厚接触職員1名〈陰性〉）。職員は2週間の自宅待機、入居者は入院となったが重症化せず、2週間後に職員復帰、入居者は帰苑した。新砂から職員2名が応援に入った。
- 3) 南海トラフによる大地震発生に備え、西大井の各町会や品川区防災課と連携し、避難所の運営手順、災害情報の周知、備蓄品の確認、負傷者の搬送などのマニュアル作成などを行った。
- 4) コロナ禍に伴い、東京都のかけこみし予算を基にAI機器の導入、配備を積極的に行った。
- 5) 西大井のユマニチュード研修、口腔ケア技術のレベル認定研修を継続して実施した。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

1) こうほうえん地域ブランドとして評価認知される施設となる

広報誌の記事内容の充実やホームページに最新情報をアップすることで、地域への発信を積極的に行い、周知に努めている。

西大井では、地域とこうほうえんが一体となって地域を盛り上げる活動を「SDGs」の一環として取り組んでいる。手始めに、町会（2町会）と近隣の「ウエルカムセンター」の4者で「祭り」の合同開催に合意したが、コロナ禍で中止した。令和3年度も開催見込が立たないため、令和4年度に向けて新たに検討を再開することになっている。

実習希望者は事業所認知の指標として、各大学、短期大学、専門学校から看護師、理学療法士、社会福祉士、介護福祉士、相談員、保育士などの実習を受け入れてきた。これまで多く

の受入れ実績があったが、本年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ケアホームでは実習を中止した。保育園や新砂介護事業所で少数の実習生を受け入れる結果にとどまった。

2) 職員確保と採用を安定させる人材育成の仕組みができています

ケアホームにおけるユマニチュードの取り組みが認知され、関心を持つ入職希望が増えつつある。各種の研修を実施して介護・保育共に人材育成を計っている。特色ある介護や保育の実践が求職希望者の増加に繋がり、丁寧な指導と研修による自己研鑽を可能とするプログラムが仕事や事業所への愛着を醸成し、離職者の減少に寄与している。

3) ムリ、ムダ、ムラをなくし、業務効率の改善が進んでいる

「5S運動」を継続して実施し、職員一人ひとりが「5S」を理解し、自ら行動できるようにしている。勤務時間の変更、フレックスタイム制の活用が職員の負担軽減(残業時間の削減)に繋がった。事業所間、職種間で業務の見直しに着手し、効率化を図っている。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員（人）	令和2年度（%）	令和元年度（%）	平成30年度（%）
ケアホーム西大井	48	96.0	95.6	98.2
多機能ホーム新砂	29	84.2	90.2	93.1
グループホーム新砂	9	99.7	97.3	97.6
シルバーステイ	4	68.2	79.1	74.7

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<p>○餅つき ○誕生会 ○避暑シェルターの実施 ○餃子づくり ○野外園庭薪炊飯 ○節分豆まき ○お好み焼きづくり ○お汁粉づくり</p> <p>○ひまわりカフェ(入居者及び家族のみ) ○銀色茶房(利用者のみ)</p> <p>○グラウンド・ゴルフ大会(縮小開催) ○自治会一斉清掃 ○レク・外出(公園) 行事 ○行事食提供 ○防災訓練(毎月又は年2回)</p> <p>○保育園内行事(夏祭りごっこ、夕涼み会、敬老会(メッセージ発信)、スポーツウィーク、遠足、お店屋さんごっこ、新年子ども会、餅つき、ミニ生活発表会、就学祝い会)</p> <p>(※新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの行事、交流を中止、保育園では保護者参加を制限し、園内のみで実施した。)</p>
エリア内研修状況	<p>○食中毒研修(講師:保健所) ○インターライ研修 ○ユマニチュード研修(月2回) ○救急救命研修 ○排泄ケア研修 ○虐待防止研修 ○口腔ケア研修 ○身体拘束 ○感染症 ○リスクマネジメント研修 ○理学療法士による腰痛予防研修 ○新人職員研修 ○施設内防災設備研修 ○防災訓練指導研修(消防署主催)</p> <p>(※職員配置の都合で受講者数が限られ研修は、研修後に他職員への伝達研修、実施状況等の確認を行った。)</p>
エリア内会議、委員	<p>○南東京エリア調整会議 ○介護3事業所会議(新砂) ○全体会議(西大井) リーダー会議(新砂) ○ケアホーム事務所会議(西大井)</p>

会活動	○運営推進委員会(新砂、1回のみ) ○品川区避難所会議(約3ヵ月に1回開催) ○東京地区研修委員会 ○労働安全衛生委員会 ○環境、レク委員会 ○広報委員会 ○給食会議 ○排泄、褥瘡委員会 ○ISO委員会 ○リスクマネジメント委員会 ○口腔ケア推進委員会 ○ユマニチュード推進委員会 (※特に明記の無い会議は月1回の開催)
委員会活動等の成果・実績・反省	・運営推進委員会(新砂、隔月開催予定)は書面報告となり、委員の意見・助言を得られず、具体的な取り組みが行えなかった。 ・江東区地域密着型介護事業としての3事業の特色を全職員が理解し、課題の明確化と相互補完ができるよう取り組んでいる。

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	なし
外部役職就任状況	○NPOシルバー総合研究所 理事 (田中とも江施設長) ○千葉県 身体拘束・排泄ケア現地指導員 (拘束廃止研究所へ委嘱) (田中とも江施設長) ○静岡県立大学 認知症アシストフォーラム (田中とも江施設長) ○福島県虐待防止ネットワーク連携会議委員 (田中とも江施設長) ○ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部 名誉会長(田中とも江施設長)
外部表彰受賞状況	○品川介護福祉専門学校主催研究発表会(令和3年2月6日リモート録画参加)において、腰痛予防で奨励賞を受賞

7 地域貢献実績(保育所含む)

実習受け入れ実績 延人数 11人	○東京福祉専門学校(介護実習Ⅰ) ○道灌山保育専門学校(保育実習Ⅰ) ○淑徳大学短期大学部(保育実習Ⅱ) ○横浜子ども専門学校(見学実習・責任実習)
ボランティア受け入れ実績 延人数 12人	○園児の保育
見学受け入れ実績 実人数 180人	○施設(介護・保育)利用希望者
地域交流活動実績1 実施回数 2回 延人数 46人	(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) ○小学校インタビュー(砂町第五小学校)

地域交流活動実績 2 実施回数 0回 延人数〇〇〇人	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) なし
ボランティア・環境 活動参加実績 1 投入人数 7人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○新砂三丁目アパート自治会一斉清掃 ○事業所周辺清掃活動(新砂、週6回)
ボランティア・環境 活動参加実績 2 投入人数 0人	(見守り活動・学校活動の手伝い等) なし
地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)	なし
地域発信活動実績(認 知症サポーター養成講 座)	なし
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催 及び参加等)	○おれんじる〜む(江東区、認知症家族交流会):2名



社会福祉法人 こうほうえん

令和3年6月24日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3113
